

2026年 2月 カレンダー記念日 説明表

い～とカレンダーは様々な記念日をきっかけに、食や健康に対して関心を持って頂き、自分自身の健康管理や生活習慣改善に役立ててもらうことを目的としています。

日付	記念日	説明
1	ゆで卵の日	「二ワトリ (2) 、たまご (0) 、ひとつ (1) で料理として成り立つ」と読んで2月1日に制定されました。
2	オーツ麦の日	オートミールやオーツミルクの主原料でもあるオーツ麦の魅力を多くの人に知ってもらうことを目的とし、オーツ麦の「オーツ」を02と読んで02月02日に制定されました。
3	節分	立春の前日であり、季節の変わり目には邪気が生じると考えられていたため、それを追い払う意味で豆まきが行われています。
5	煮たまごの日	2と5で「煮=に (2) たまご (5) 」と読む語呂合わせから由来されます。
6	抹茶の日	西尾茶の創業150年を記念し、さらに多くの人に抹茶を味わってもらうことを目的とし、茶道において釜を掛けて湯を沸かす道具「風 (2) 炉 (6) 」の語呂合わせから2月6日に制定されました。
8	せんざい・おしるこの日	昔から2月8日は「事八日」(ことようか)と呼び、あずきが入った「お事汁」(おことじる)を無病息災を祈って飲む習慣があることと、10月31日の「出雲せんざいの日」から語呂合わせで465(しるこ)日後となることが多いこの日に制定されました。
9	大福の日	2と9で「大福」の「ふ (2) く (9) 」と読む語呂合わせから由来されます。
10	豚丼の日	2で「ぶた」10で「どん」と読む語呂合わせから由来されます。
12	レトルトカレーの日	1968年のこの日、世界初のレトルトカレーが発売されたことから制定されました。
14	バレンタインデー	女性から男性に向かって恋を打ち明ける日とされ、日本では愛の印としてチョコレートを贈ります。この習慣はメリーチョコレートがチョコレートの販売促進のためのキャンペーンとして展開したのが始まりとされています。
16	寒天の日	2005年2月16日にテレビの全国放送で寒天が健康食品として紹介され、その後の大ブームにつながったことと、天然製造の寒天は、この時期に大詰めとなることなどから由来されます。
17	千切り大根の日	千切り大根の生産が2月に最盛期を迎えることと、「千」の字を「二」と「1」に見立て、「切」の字の「七」とを合わせて2月17日としました。
19	食育の日	「食育の日」は、食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図るための機会として、「食育推進基本計画」により定めされました。
20	キヌアの日	国連が2013年2月20日に「国際キヌア年」の開幕式典を開催したことと、2016年の同日に日本キヌア協会が発足したことから由来されます。
22	おでんの日	アツアツのおでんは「ふーふーふー」と息を吹きかけて食べることから、2(ふー)と22(ふーふー)の2月22日に制定されました。
26	フロリダグレープフルーツの日	2月からフロリダ産グレープフルーツが旬になること、26をフロリダの「フロ」と読む語呂合わせから由来されます。